

株式会社 クリエイト SD ホールディングス



2024年5月期 決算説明資料

2024年7月11日

本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性があります。あらかじめ御承知おきくださいますようお願い申し上げます。
お問い合わせ先 経営企画部:阿部・木村(TEL 045-914-8241)

2024年5月期 実績

1. 決算ハイライト(連結)
2. 損益計算書(連結)
3. 貸借対照表(連結)
4. キャッシュフロー計算書(連結)
5. 出退店状況
6. 業績ハイライト

2025年5月期 計画

1. 2025年5月期 通期計画
2. 出退店計画
3. 2025年5月期の取り組み
4. 設備投資・配当推移
5. 中期経営計画の修正について
6. サステナビリティ経営の推進

2024年5月期 実績

1. 決算ハイライト(連結)

2024.5期 累計実績

売上高

4,223億円

(前期比 110.9%)

経常利益

208億円 経常利益率
4.9%

(前期比 107.5%)

《事業概況》

- ◆EDLP施策が奏功し**既存店客数・売上は大幅に伸長**
- ◆荒利率は低下した一方、売上伸長による荒利額確保及び販管費コントロールにより**増収増益を達成**

2. 2024年5月期 PL(連結)

	2023.5期 累計 実績		2024.5期 累計 実績			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売 上 高	380,963	100.0	422,330	100.0	110.9	99.7
売上総利益	102,987	27.0	110,187	26.1	107.0	99.6
販売管理費	84,075	22.1	89,959	21.3	107.0	100.3
営 業 利 益	18,912	5.0	20,227	4.8	107.0	96.4
経 常 利 益	19,428	5.1	20,882	4.9	107.5	96.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,925	3.4	13,691	3.2	105.9	98.1

売上高

コロナ5類移行による外出機会の増加に加え、前期に引続きEDLP施策が奏功

売上総利益

マスク等高荒利商材の反動減、調剤荒利率の低下の他、荒利ミックス変化により

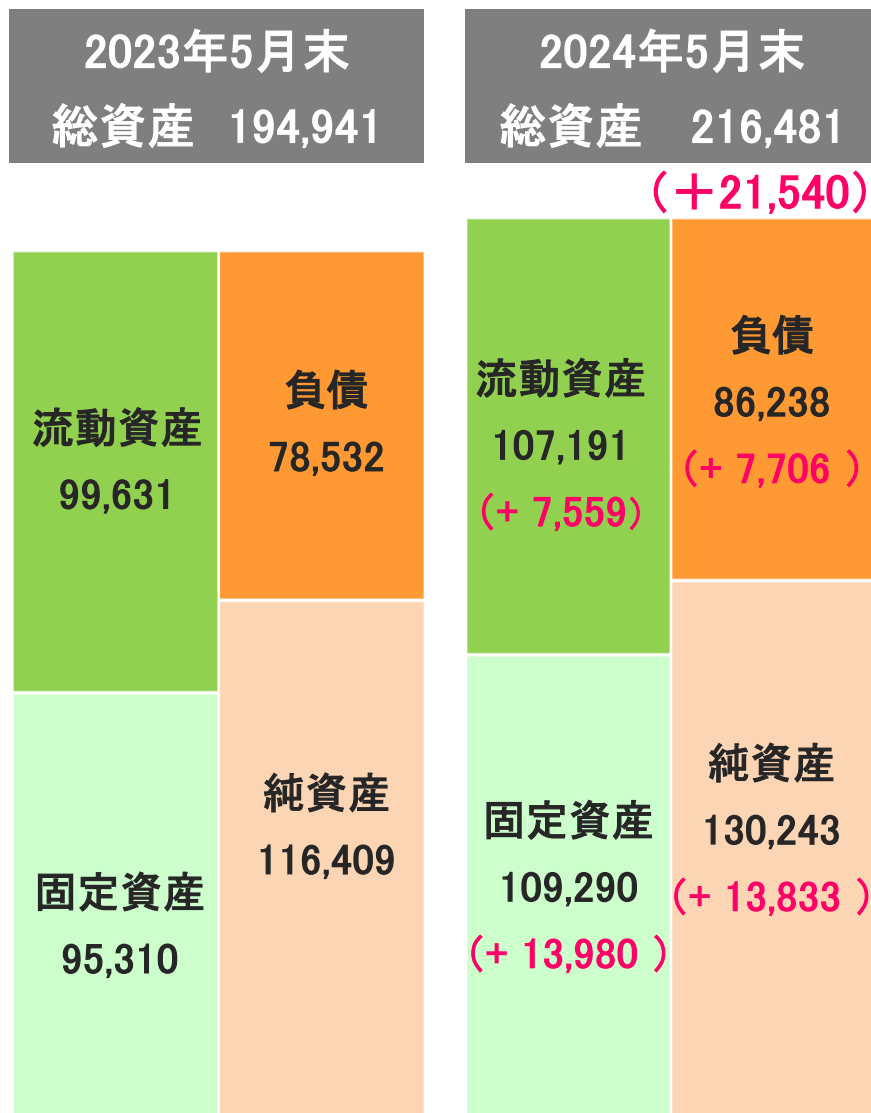
前年同期差 $\Delta 0.9\text{pt}$

販管費

人件費コントロール及び政府助成金による水道光熱費の増加抑制

前年同期差 $\Delta 0.8\text{pt}$

3. 2024年5月期 BS(連結)



(単位:百万円)

■流動資産 +7,559

現預金の増加	+686
売掛金の増加	+2,118
商品の増加	+3,518

■固定資産 +13,980

物流センター手付金他	+5,083
建物及び構築物	+8,730

■負債 +7,706

買掛金の増加	+5,872
--------	--------

■純資産 +13,833

利益剰余金	+10,277
新株予約権の行使による 自己株式処分	+3,261

4. 2023年5月期 CF(連結)

■ キャッシュフロー計算書

	2023.5期	2024.5期	
	<百万円>	<百万円>	増 減
営業活動による キャッシュフロー	18,985	21,034	+2,049
投資活動による キャッシュフロー	△20,491	△20,207	+284
財務活動による キャッシュフロー	△3,034	△140	+2,893
現金及び現金同等物の増減額	△4,541	686	+5,227
現金及び現金同等物の期末残高	37,126	37,812	+686

■ 設備投資・減価償却費

	2023.5期	2024.5期	
	<百万円>	<百万円>	増 減
設備投資	21,558	21,143	△415
減価償却費	4,195	4,847	+651

5. 出退店状況

■ 出退店・改装

今期累計 出店数		神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	その他	合計
出店	ドラッグストア	20	2	4	11	3	3	43
	調剤薬局	24	2	7	10	4	1	48

- ・退店:ドラッグストア **8店舗** (S&B 1店舗、契約満了 5店舗、経営効率化 2店舗)
- ・改装: **34店舗** (MD見直し 18店舗、調剤開局フォロー 13店舗、増床改装 2店舗、調剤改装 1店舗)

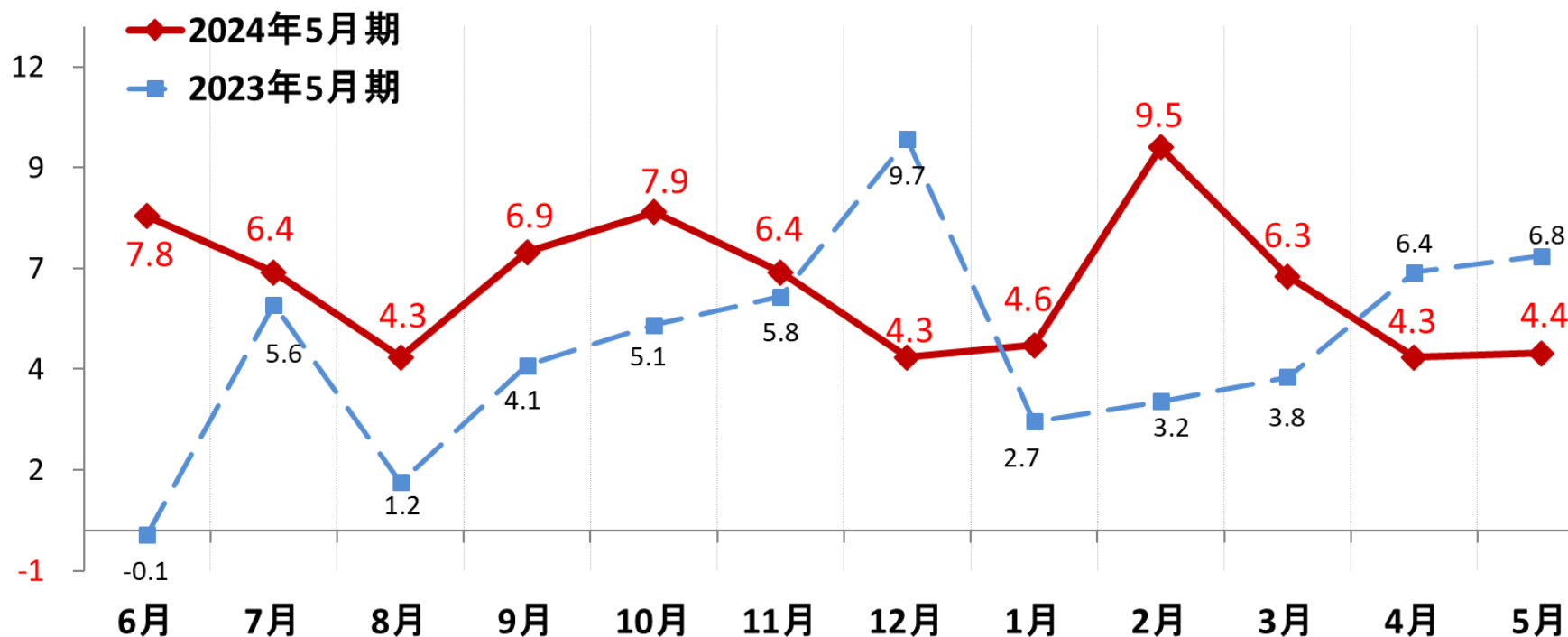
■ 期末店舗数

	神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	その他	合計
ドラッグストア	420	113	97	65	23	34	752
併設薬局	225	55	35	38	17	10	380
併設率	53.6%	48.7%	36.1%	58.5%	73.9%	29.4%	50.5%
専門薬局	27	7	0	2	1	1	38
SM・生鮮専門店	6	0	0	0	0	0	6
総店舗数	453	120	97	67	24	35	796

6. 業績ハイライト

■ 全社既存店 売上高前年比: **106.1%** (上期: 106.6% 下期: 105.5%)

└ OTC: **105.3%** 調剤: **111.5%**



物価上昇・節約志向が高まる中、EDLP施策が奏功

コロナ5類移行に伴う人流回復・外出機会増

猛暑による夏物シーズン品好調

風邪、インフル等の急性疾患流行

うるう年

6. 業績ハイライト

■ セグメント別売上高

	2023.5期 累計実績		2024.5期 累計実績		
	売上高 (百万円)	構成比(%)	売上高 (百万円)	構成比(%)	前期比 (%)
医 薬 品	104,590	27.8	111,686	26.7	106.8
O T C	61,110	16.2	61,169	14.6	100.1
調 剤	43,479	11.6	50,517	12.1	116.2
化 粧 品	44,519	11.8	47,768	11.4	107.3
食 料 品	151,719	40.3	176,791	42.3	116.5
日 用 雑 貨 品	57,172	15.2	62,070	14.9	108.6
そ の 他	18,134	4.8	19,787	4.7	109.1
合 計	376,135	100.0	418,104	100.0	111.2

医薬品

《OTC》

マスク・抗原検査キット等の反動減の一方、感冒薬等の風邪関連好調

《調剤》

調剤併設推進による応需枚数増
調剤売上構成比は12.1%と伸長(+0.5pt)

化粧品

人流回復、外出機会の増加により
メイク化粧等の需要は回復傾向

食料品

大型店を中心とした食品の品揃え充実、
EDLP施策が奏功し、販売数増

※“その他”の部門には 文具・ベビー用品・衣料品・ペット・園芸等が含まれます

6. 業績ハイライト

■ 調剤薬局部門

	2023.5期 累計実績	2024.5期 累計実績	前期比 前期差
全店売上 (百万円)	43,479	50,517	116.2
処方箋枚数 (千枚)	4,605	5,491	119.2
処方箋単価 (円)	9,221	9,032	97.9
既存店売上 (百万円)	43,372	48,370	111.5
処方箋枚数 (千枚)	4,592	5,224	113.8
処方箋単価 (円)	9,227	9,100	98.6
在宅売上 (百万円)	1,334	1,420	106.5
在宅店舗数 (店)	187	192	+5
処方箋枚数 (千枚)	89	91	103.1
全店荒利率 (%)	42.8	40.7	△2.1

処方箋枚数

- ・調剤併設の推進、医療機関との連携
- ・風邪、インフル流行による急性期処方増
- ・コロナ5類移行、受診控えからの回復

処方箋単価

- ・診療報酬及び薬価改定影響に加え、急性期処方の増加により低下傾向

荒利率

- ・22年4月診療報酬改定による調剤技術料減額
(基本料減額: 当社においては23年4月より)
- ・23年4月薬価改定の影響

6. 業績ハイライト

■ 売上総利益率・販管費率

売上総利益率

- ・マスクや除菌関連商材、抗原検査キット等の高荒利商材の反動減
- ・EDLP施策の推進継続
- ・調剤診療報酬改定及び薬価改定による調剤荒利率の低下
- ・フーズ売上構成増による荒利ミックス変化

前年同期差 $\Delta 1.0\text{pt}$

販管費率

- 《人件費》
 - ・人員の適正配置による人件費コントロール
 - ・従業員業績連動賞与(2405期末より導入)
- 《水道光熱費》
 - ・政府補助金による増加抑制
- 《地代家賃》
 - ・自社所有物件の増加により売上構成比は低下

前年同期差 $\Delta 0.7\text{pt}$

	2305期 累計		2405期 累計		前期比差	
	実績(百万円)	構成比	実績(百万円)	構成比	構成比差(%)	前年比(%)
売上額	376,135	-	418,104	-	-	111.2
売上総利益	102,283	27.2	109,531	26.2	$\Delta 1.0$	107.1

	2305期 累計		2405期 累計		前期比差	
	実績(百万円)	構成比	実績(百万円)	構成比	構成比差(%)	前年比(%)
人件費計	46,478	12.4	49,743	11.9	$\Delta 0.5$	107.0
水道光熱費	3,947	1.0	3,943	0.9	$\Delta 0.1$	99.9
減価償却費	4,097	1.1	4,768	1.1	+0.0	116.4
支払手数料	4,725	1.3	5,104	1.2	$\Delta 0.1$	108.0
地代家賃	16,582	4.4	17,332	4.1	$\Delta 0.3$	104.5
販売費・一般管理費	84,639	22.5	90,949	21.8	$\Delta 0.7$	107.5

2025年5月期 計画

1. 2025年5月期 計画(連結)

通期	2024.5期 実績		2025.5期 計画			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	前期差 (百万円)
売 上 高	422,330	100.0	457,600	100.0	108.4	+35,270
売 上 総 利 益	110,187	26.1	119,100	26.0	108.1	+8,913
販 売 管 理 費	89,959	21.3	97,100	21.2	107.9	+7,141
営 業 利 益	20,227	4.8	22,000	4.8	108.8	+1,773
経 常 利 益	20,882	4.9	22,400	4.9	107.3	+1,518
当 期 純 利 益	13,691	3.2	14,400	3.1	105.2	+709

《前提条件》

■既存店売上高 前年比

全社 : 102.7% (上期 : 103.1% 下期 102.4%)
 OTC : 101.7% (上期 : 102.3% 下期 101.2%)
 調剤 : 110.5% (上期 : 109.7% 下期 111.3%)

■出退店・改装

出店 : ドラッグストア 45店舗 調剤薬局 40店舗
 退店 : ドラッグストア 8店舗
 改装 : 20店舗

2. 出退店計画

■新規出店

ドラッグストア **45店舗** (前期 43店舗)

調剤薬局 **40店舗** (前期 48店舗)

・既存出店エリアにおける更なるドミナント強化

- ▶多様な出店形態の推進
- ▶競争力高い大型店開発に注力
- ▶他業態との協業・連携
…地場SMとの協業、医療機関誘致、SC出店等

・調剤薬局の併設推進

■退店

ドラッグストア **8店舗** (前期 8店舗)

- ▶新店、大型店舗へのスクラップ&ビルド
- ▶人的資本他、経営資源の集中
…ドミナントエリア内、小型店舗を契約満了に合わせて退店

	2024.5月末 店舗数	2025.5月末 店舗数
ドラッグストア	752	789
併設薬局	380	420
併設率	50.5%	53.2
専門薬局	38	38
SM・生鮮専門店	6	5
総店舗	796	832

3. 2025年5月期の取り組み

■ドラッグストア部門

・客数・買上点数増を図りつつ荒利率をコントロール

- ▶EDLP施策の継続推進
- ▶売場における荒利ミックス、売り方の工夫による荒利額確保
- ▶PB商品の新規開発とリニューアル

■調剤薬局部門

・調剤併設推進とかかりつけ機能強化による応需枚数増加

- ▶薬剤師の対人業務および接遇強化
- ▶在宅応需推進、近隣医療機関との連携強化
- ▶処方せん事前送信アプリの活用推進、電子処方箋応需体制整備

■販管費抑制

・ローコストオペレーションの徹底

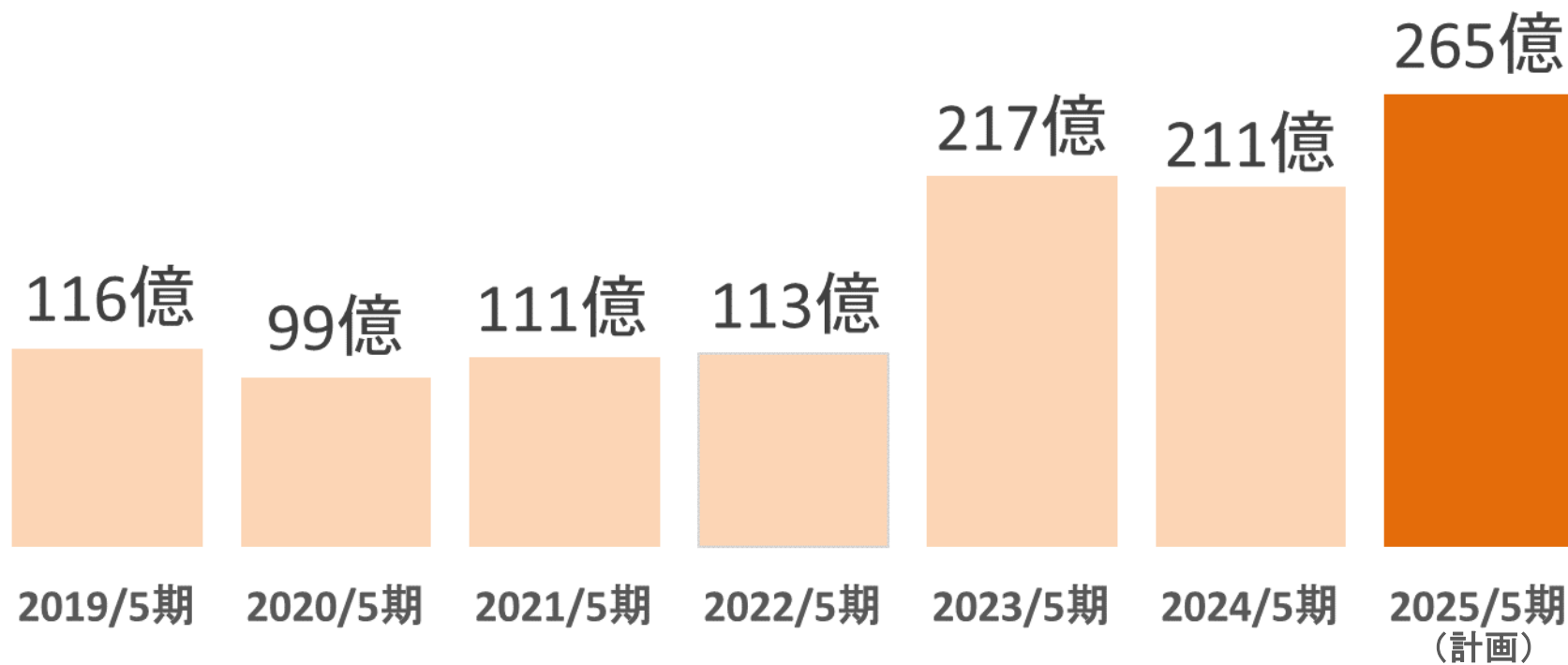
- ▶人員の適正配置および人時コントロールの推進
- ▶太陽光発電設備導入による光熱費抑制
- ▶物流センターの新設・再配置による物流効率改善

4. 設備投資・配当推移

■設備投資額 推移

引き続き、積極的な設備投資を計画

⇒前期に引き続き45店舗の出店を計画、大型店の増加や、
物流センター投資として70億円を見込み過去最高の265億を計画



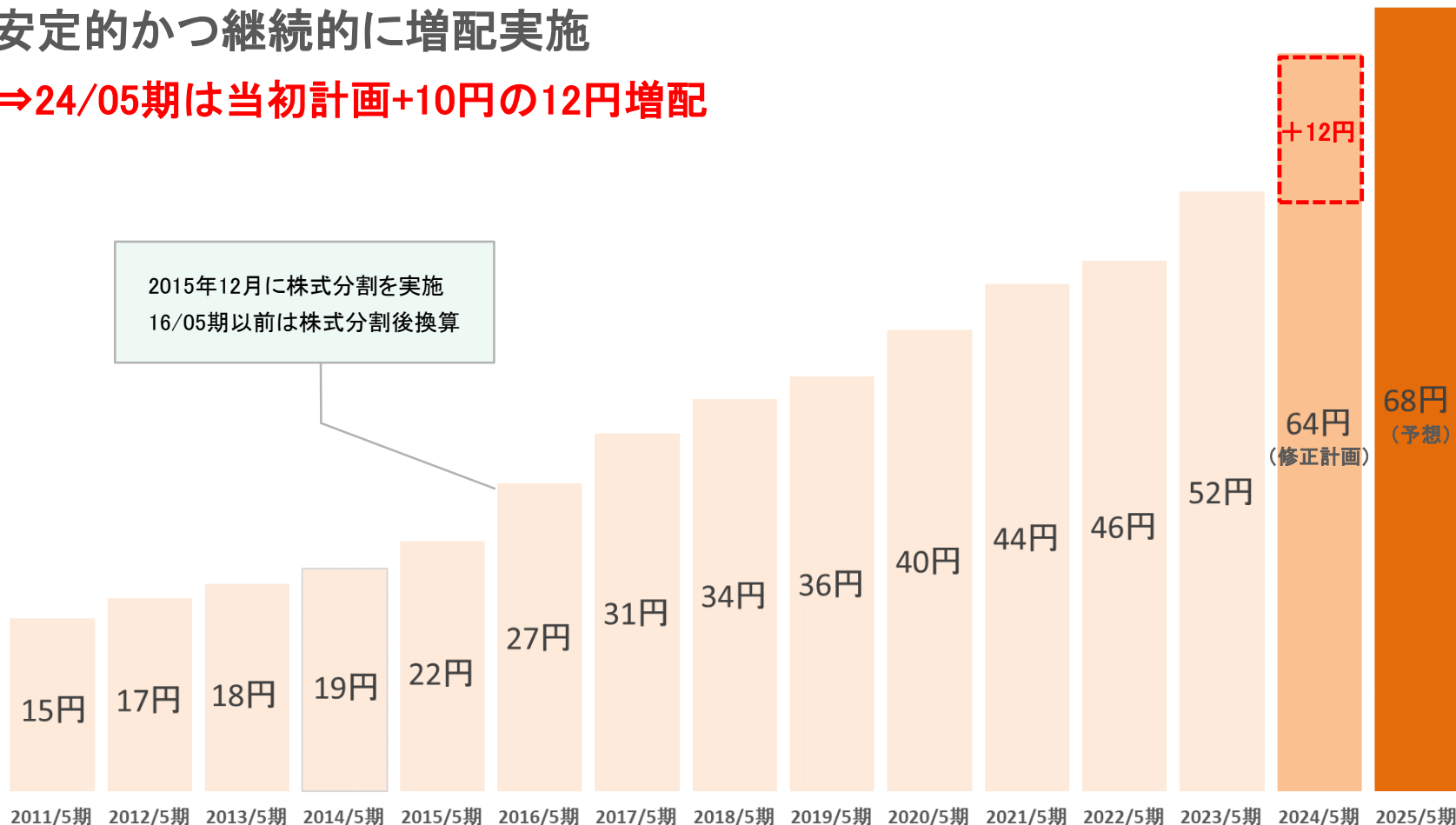
4. 設備投資・配当推移

■1株当たり配当金 推移

過去13年に渡り、連続増配

…安定的かつ継続的に増配実施

⇒24/05期は当初計画+10円の12円増配



5. 中期経営計画の修正について

中期 経営計画	2025.5期 <u>2023.7修正</u>	2028.5期 <u>2023.7修正</u>
	<百万円>	<百万円>
売 上 高	430,000	520,000
経常利益率	5.0%	5.0%
店 舗 数	850	1000
調剤併設率	55.0%	65.0%

中期 経営計画	2025.5期 <u>2024.7再修正</u>	2028.5期 <u>2024.7再修正</u>
	<百万円>	<百万円>
売 上 高	457,600	550,000
経常利益率	4.9%	5.0%
店 舗 数	832	950
調剤併設率	53.2%	65.0%

中期経営計画修正のポイント

- ▶EDLP施策の推進、食品の品揃え充実、調剤併設の推進に加え、販促手法の見直しも含め販管費コントロールに取り組んだ結果、**売上高は計画を大きく上回り、経常利益率はやや下振れる見込み**
- ▶店舗数、調剤併設率については店舗規模の大型化、出店の遅れもあり計画未達
- ▶出店精度は落とすことなく、ドミナントエリア内における出店を継続、出店エリアの拡大やM&Aによる成長も視野に

6. サステナビリティ経営の推進

CO₂排出量の削減



・環境KPI(指標と目標)の設定

	目標達成年度	指標と目標
(Scope1,2) CO ₂ 排出量削減目標	2030年度	売場面積当たり排出量を50%削減(2014年比)

・CO₂排出量推移進捗

* 集計範囲: (株)クリエイイトエス・ディー Scope1・2のみ

指標	2014年度 (1505期)	2019年度 (2005期)	2020年度 (2105期)	2021年度 (2205期)	2022年度 (2305期)	2023年度 (2405期)
平均売場面積/店[坪]	218.3	221.2	222.1	222.7	225.6	235.5
CO ₂ 排出量/坪 [t-CO ₂]	0.470	0.451	0.435	0.432	0.434	24/8有報にて開示

※2205期節電施策強化の反動

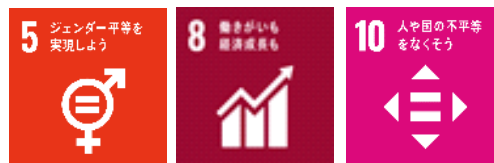
・排出量削減に向けた取り組み

- ▶店舗屋上への太陽光発電設備導入店舗拡大を計画(2405期末 21店舗)
- ▶店舗照明(LED)・冷蔵ケース・空調等、省エネ機器・設備への切り替え・更新 等

6. サステナビリティ経営の推進

■働きやすく働きがいのある会社の実現

- ・業績連動型決算賞与の導入(2024年5月期より)
…利益の一部を従業員へ還元、従業員の意欲向上
- ・業界トップクラスの総実労働時間の短さ
…営業時間の短縮継続、有給休暇・育児休業の取得促進、5連休制度 等
- ・店長、薬局長を含めた女性役職者比率の向上
…2305期末 **17.7%** → 2405期末 **19.3%**



■投資者との積極的な対話、情報開示の充実(IR/SRの充実)

- ・シェアードリサーチ社によるアナリストレポートの発行(24年4月公開)
…レポート内容及び適時開示資料の英訳版開示
- ・ROE/ROIC等、資本コスト及び資本収益性を意識した経営の実践
- ・株主還元の充実



シェアードリサーチ社による
当社の調査レポートはこちら